

平成26年度

徳島大学大学院先端技術科学教育部

博士後期課程

第2次学生募集要項

(一般入試・社会人特別入試)

# 入試関係日程

募集要項公表	10月上旬頃
入学資格の資格審査書類提出	10月25日(金)
障がいのある入学志願者の事前相談	10月25日(金)
出願期間	11月5日(火)から11月7日(木)
試験日	11月18日(月)
合格発表	12月17日(火)
入学手続	2月中旬手続書類送付 手続は3月上旬予定

問合せ先等

〒770-8506

徳島市南常三島町2-1

徳島大学工学部学務係

Tel 088-656-7315~7317

Fax 088-656-2158

<http://www.tokushima-u.ac.jp/e/>

## 大学院先端技術科学教育部博士後期課程アドミッションポリシー

### 建設創造システム工学コース

生活・生産基盤施設、交通施設、防災施設、環境保全施設等の調査・解析・計画、設計・施工・運用システムおよび維持管理に関わる技術を研究するのに必要な基礎学力を持つ学生を求めています。

キーワード：●自然環境や公共空間に関する興味 ●数理解析や論理思考を伴う創造力  
●チャレンジ精神と行動力

### 機械創造システム工学コース

機械工学に関する工学修士の学位または同等以上の学力を有し、機械工学に関する高度の専門知識と研究能力を求め、創造的技術者・研究者に成長したい優秀な学生を求めています。

キーワード：●機械工学への学術的創造力

### 化学機能創生コース

化学及び化学技術に関する新しい原理、方法、現象等の探究を通じてその成果を更に高度に発展させることに興味をもち、将来、国際的、学際的な研究プロジェクトの中核となることをめざす学生を求めています。

キーワード：●探究心、積極性、独創性、国際性

### 生命テクノサイエンスコース

生物工学技術者・研究者をめざし、本コースに強い入学意欲を持った向学心の旺盛な学生を求めています。

キーワード：●生命に対する深い興味 ●柔軟かつ独創的な発想 ●強い目的意識

### 電気電子創生工学コース

電気電子工学に関する課題を、幅広い視野と論理的な思考で解決し、地域社会、国際社会に貢献できる技術者を育成するため、勉学に強い意欲を持った学生を求めています。

キーワード：●創造性に富んだチャレンジ精神 ●国際的なコミュニケーション能力  
●チームでの課題解決能力

### 知能情報システム工学コース

知能情報工学の技術者としての標準的水準の能力を持ち、広い視野と自律的に行動できる能力を持つ国内外の社会に貢献できる人材を育成するために、基礎学力と旺盛な勉学意欲を持つ学生を求めています。

キーワード：●知能情報工学の専門知識と技術力 ●論理的分析・思考・表現・解決力  
●自発的学習力と共同作業の協調力

### 光システム工学コース

高い専門能力と広い視野で、社会のリーダーとなり、また国際的なコミュニケーション能力を身につけた研究者・技術者を育成します。

キーワード：●創造的研究 ●国際的なコミュニケーション能力 ●感性が豊かで柔軟な発想

# 一般入試

## 1 募集人員

専攻	コース	募集人員	講座内容
知的力学システム 工学専攻	建設創造システム工学コース	8名	建設構造工学 環境整備工学 社会基盤工学 社会システム工学
	機械創造システム工学コース		機械科学 機械システム 知能機械学 生産システム
物質生命システム 工学専攻	化学機能創生コース	6名	物質合成化学 物質機能化学 化学プロセス工学
	生命テクノサイエンスコース		生物機能工学 生物反応工学
システム創生工学専攻	電気電子創生工学コース	18名	物性デバイス 電気エネルギー 電気電子システム 知能電子回路 電力エネルギー（連携講座）
	知能情報システム工学コース		基礎情報工学 知能工学
	光システム工学コース		光機能材料 光情報システム

注) 募集人員の中には、社会人特別入試の若干人及び外国人留学生特別入試の若干人を含みます。

## 2 出願資格

出願することができる者は、次のいずれか一つに該当する者とします。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者又は平成26年3月31日までに取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は平成26年3月31日までに取得見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履習し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は平成26年3月31日までに取得見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は平成26年3月31日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 本教育部において、個別の入学資格審査により上記(1)に規定する者と同等以上の学力があると認めた者で、平成26年3月31日までに24歳に達する者

### 出願資格(7)、(8)の認定について

- 1 出願資格(7)に定める「文部科学大臣の指定した者」の範囲は、次の①及び④の要件を満たす者であること。  
出願資格(8)に定める「修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者」の範囲は、次の②又は③及び④の要件を満たす者であること。
  - ① 大学を卒業し、又は学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者であること。
  - ② 大学を卒業し、又は学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された後、科学・技術関係分野で2年以上の業務経験があること。
  - ③ 短期大学、高等専門学校、専修学校及び各種学校の卒業後又はその他の教育施設の修了後、大学、企業及び公設の研究

所等において4年以上研究に従事するか、又は科学・技術関係分野で4年以上の業務経験があること。

- ④ 著書、学術論文、学術講演、学術報告及び特許等において修士学位論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有する者であること。

- 2 出願書類は、徳島大学大学院先端技術科学教育部において入学試験出願資格認定審査が終了するまで、その受理を保留します。

該当する志願者は、「最終学歴の卒業証明書」、「入学試験出願資格認定審査調書」（本教育部所定の用紙）及び「研究業績調書」（本教育部所定の用紙）に論文の別刷等を添付し、10月25日（金）までに工学部学務係に提出してください。

### 3 入学者の選抜方法

#### (1) 選抜方法

入学者の選抜は、コースにより筆記試験（英語）、口述試験及び書類審査の結果を総合して行います。

#### (2) 検査科目、試験日時及び場所

コ ー ス	11月18日（月）				場 所
	科目	時 間	科目	時 間	
建設創造システム工学コース	英語	9:00～11:00	口述試験	11:15～	徳島市南常三島町2-1 工学部講義室配置を参照
機械創造システム工学コース	英語	9:00～11:00	口述試験	11:15～	
化学機能創生コース	英語	9:00～11:00	口述試験	11:15～	
生命テクノサイエンスコース	英語	9:00～11:00	口述試験	11:15～	
電気電子創生工学コース	英(注)		口述試験	11:15～	
知能情報システム工学コース	英語	9:00～11:00	口述試験	11:15～	
光システム工学コース			口述試験	11:15～	

#### (注)

- 筆記試験においては、試験開始後30分以上経過した遅刻者は、受験できません。
- 筆記試験においては、試験開始から終了まで退出は認めません。
- 口述試験の内容  
口述試験は、志望する研究分野に関連する科目、修士論文（修士課程修了見込みの者については修士論文研究の進捗状況）、研究業績調書、研究計画書等の内容について行います。
- 口述試験の時間  
口述試験の開始時間については希望指導教員より通知します。
- 電気電子創生工学コースの英語は、口述試験で行いますが、TOEIC又はTOEFLの成績通知書を提出した場合にはこれを免除することがあります。

### 4 障がいのある入学志願者との事前相談

受験上及び修学上で配慮を必要とする場合は、次のとおり工学部学務係に申し出てください。

#### (1) 時期

平成25年10月25日（金）まで

（注）受験上及び修学上の方法等を検討する必要がありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

#### (2) 方法

次の①～⑧に記載した書類（様式は任意）を提出してください。

- 氏名、生年月日
- 志望専攻、コース
- 現住所、電話番号及び保護者の連絡先
- 障がいの種類、程度（後日、健康診断書の提出を依頼する場合があります。）
- 受験の際に特別な配慮を希望する事項及び内容
- 修学の際に配慮を希望する事項及び内容
- 出身学校在学中にとられていた配慮及び出身学校名
- 日常生活の状況等

## 5 出願手続

### (1) 願書受付期間及び出願方法

#### ① 願書受付期間

平成25年11月5日(火)から平成25年11月7日(木)17時まで(必着・郵送を含む)  
(受付時間:9時~17時 ただし12時~13時を除く。)

#### ② 出願方法

出願書類等は本募集要項添付の封筒を使用してください。  
なお、郵送の際は、必ず「書留記録」としてください。

#### ③ 提出先

〒770-8506 徳島市南常三島町2-1 徳島大学工学部学務係  
電話 088-656-7315, 7317 Fax 088-656-2158

#### ④ 募集要項の請求

願書を郵便で請求する場合は、あて名を明記し、390円切手を貼った返信用封筒(角2封筒33.2cm×24.0cm)を同封してください。

#### ⑤ 出願手続き等に不明の点がある場合は、工学部学務係に照会してください。

### (2) 出願書類等

書類等の種別	該当者	記入方法, 注意事項等
入学願書 受験票, 写真票	全員	所定の用紙に必要事項を記入してください。 受験票及び写真票には上半身, 脱帽, 正面向きで同一の写真(縦4cm×横3cm, 最近撮影した本人確認が可能なもの)をはってください。
修了(見込)証明書	本研究科又は本教育部 博士前期課程修了者又は 修了見込者	不要。
	上記以外	必要。出身大学長(研究科長)が作成した修士課程修了証明書。ただし、平成26年3月修了見込みの者は、修士課程修了見込み証明書が必要。
成績証明書 (学部及び大学院)	全員	出身大学(学部)長又は(研究科)長が作成し、厳封したもの。
修士学位論文要旨	全員	所定の用紙に、2,000字以内で記入してください。ただし、修士課程修了見込みの者は、修士論文の研究題目とその研究の進捗状況について要約したもの。なお、関連した論文の別刷又は学術講演、特許等がある場合は、そのコピーを添付してください。
研究業績調書	修士論文に関連したものの他に研究業績を有する者	修士論文に関連したものの他に研究業績を有する者は、所定の用紙(本学生募集要項とじ込み)に、著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許又は実用新案等社会における研究活動状況を示すものを記入してください。なお、関連した論文の別刷等の資料を添付してください。
研究計画書	全員	研究を希望するテーマあるいは分野について、その目的及び構想を、研究指導を希望する教員と相談の上、所定の用紙に、1,000字以内で記入してください。
推薦書	任意	所定の用紙に必要事項を記入した、原則として出身大学の指導教員が作成し、厳封したもの
TOEIC又はTOEFLの成績証明書	電気電子創生工学コースへの志願者(任意)	TOEICは"Official Score Certificate"(公式認定証)、TOEFLは"Examinee's Score Record"の原本を出願時に提出するものとし、団体受験用のTOEIC(IP)及びTOEFL(ITP)のスコアは受け付けません。



ただし、外国人志願者で日本政府（文部科学省）国費留学生は不要。

(注1) 入学料及び授業料は現行の金額であり、改定されれば改定金額が適用されます。

(注2) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

(注3) 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に、後期分も合わせて納付できます。

(注4) 入学料、授業料とも経済的理由により納付が困難であり、かつ、学業が優秀と認められる者又は風水害等の特別な事情がある者は、選考の上、全額又は半額の免除が認められる制度があります。

(3) その他の経費として後援会費、工業会費（本工学部出身者は不要）、学生教育研究災害傷害保険料等若干の経費が必要です。

## 8 個人情報の取扱い

(1) 出願書類等に記載された氏名、生年月日、その他の個人情報については次の目的をもって、本学が管理します。

① 入学者選抜、合格通知及び入学手続等の入試業務

② 合格者の入学後の教務関係（学籍管理、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金援助、就職支援等）、授業料等に関する業務

(2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計、分析及び入学者選抜方法の調査、研究（入試の改善や志願動向の調査、分析等）のために利用します。



# 社会人特別入試

## 1 募集人員

専攻	コース	募集人員	講座内容
知的力学システム工学専攻	建設創造システム工学コース	若干人	建設構造工学 環境整備工学 社会基盤工学 社会システム工学
	機械創造システム工学コース		機械科学 機械システム 知能機械学 生産システム
物質生命システム工学専攻	化学機能創生コース	若干人	物質合成化学 物質機能化学 化学プロセス工学
	生命テクノサイエンスコース		生物機能工学 生物反応工学
システム創生工学専攻	電気電子創生工学コース	若干人	物性デバイス 電気エネルギー 電気電子システム 知能電子回路 電力エネルギー（連携講座）
	知能情報システム工学コース		基礎情報工学 知能工学
	光システム工学コース		光機能材料 光情報システム

## 2 出願資格

下記のいずれか一つに該当し、各種の研究機関、教育機関、企業等に正規職員として勤務している研究者又は技術者で、入学後もその身分を有し、所属長より推薦を受けた者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者又は平成26年3月31日までに取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は平成26年3月31日までに取得見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履習し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は平成26年3月31日までに取得見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は平成26年3月31日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 本教育部において、個別の入学資格審査により上記(1)に規定する者と同等以上の学力があると認めた者で、平成26年3月31日までに24歳に達する者

### 出願資格(7)、(8)の認定について

- 1 出願資格(7)に定める「文部科学大臣の指定した者」の範囲は、次の①及び④の要件を満たす者であること。  
出願資格(8)に定める「修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者」の範囲は、次の②又は③及び④の要件を満たす者であること。
  - ① 大学を卒業し、又は学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者であること。
  - ② 大学を卒業し、又は学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された後、科学・技術関係分野で2年以上の業務経験があること。
  - ③ 短期大学、高等専門学校、専修学校及び各種学校の卒業後又はその他の教育施設の修了後、大学、企業及び公設の研究

所等において4年以上研究に従事するか、又は科学・技術関係分野で4年以上の業務経験があること。

- ④ 著書、学術論文、学術講演、学術報告及び特許等において修士学位論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有する者であること。
- 2 出願書類は、徳島大学大学院先端技術科学教育部において入学試験出願資格認定審査が終了するまで、その受理を保留します。

該当する志願者は、「最終学歴の卒業証明書」及び「入学試験出願資格認定審査調書」（本教育部所定の用紙）及び「研究業績調書」（本教育部所定の用紙）に論文の別刷等を添付し、10月25日（金）までに工学部学務係に提出してください。

### 3 入学者の選抜方法

#### (1) 選抜方法

入学者の選抜は、口述試験及び書類審査の結果を総合して行います。

#### (2) 検査科目、試験日時及び場所

コース	11月18日（月）		場所
	科目	時間	
建設創造システム工学コース	口述試験	9:00～	徳島市南常三島町2-1 工学部講義室配置を参照 (試験室等については、希望指導教員から通知する。)
機械創造システム工学コース	口述試験	9:00～	
化学機能創生コース	口述試験	9:00～	
生命テクノサイエンスコース	口述試験	9:00～	
電気電子創生工学コース	口述試験	9:00～	
知能情報システム工学コース	口述試験	9:00～	
光システム工学コース	口述試験	9:00～	

(注)

- 1 口述試験の内容  
修士論文、研究業績調書、志望理由書、研究計画書等の内容について行います。
- 2 口述試験の時間及び試験室  
口述試験の開始時間及び試験室については希望指導教員より通知します。

### 4 障がいのある入学志願者との事前相談

受験上及び修学上で配慮を必要とする場合は、次のとおり工学部学務係に申し出てください。

#### (1) 時期

平成25年10月25日（金）まで

**(注) 受験上及び修学上の方法等を検討する必要がありますので、できるだけ早い時期に相談してください。**

#### (2) 方法

次の①～⑧を記載した書類（様式は任意）を提出してください。

- ① 氏名、生年月日
- ② 志望専攻、コース
- ③ 現住所、電話番号及び保護者の連絡先
- ④ 障がいの種類、程度（後日、健康診断書の提出を依頼する場合があります。）
- ⑤ 受験の際に配慮を希望する事項及び内容
- ⑥ 修学の際に配慮を希望する事項及び内容
- ⑦ 出身学校在学中にとられていた配慮及び出身学校名
- ⑧ 日常生活の状況等

## 5 出願手続

### (1) 願書受付期間及び出願方法

#### ① 願書受付期間

平成25年11月5日(火)から平成25年11月7日(木) 17時まで(必着・郵送を含む。)

(受付時間：9時～17時 ただし12時～13時を除く。)

#### ② 出願方法

出願書類等は本募集要項添付の封筒を使用してください。

なお、郵送の際は、必ず「書留記録」としてください。

#### ③ 提出先

〒770-8506 徳島市南常三島町2-1 徳島大学工学部学務係

電話 088-656-7315～7317 Fax 088-656-2158

#### ④ 募集要項の請求

願書を郵便で請求する場合は、あて名を明記し、390円切手を貼った返信用封筒(角2封筒33.2cm×24.0cm)を同封してください。

#### ⑤ 出願手続等に関する不明の点がある場合は、工学部学務係に照会してください。

### (2) 出願書類等

書類等の種別	該当者	記入方法，注意事項等
入学願書票 受験票	全員	所定の用紙に必要な事項を記入してください。 受験票及び写真票には上半身、脱帽、正面向きで同一の写真(縦4cm×横3cm、最近撮影した本人確認が可能なもの)をはってください。
修了証明書	本研究科・本教育部博士 前期課程修了者	不要。
	上記以外	必要。出身大学長(研究科長)が作成した修士課程修了証明書。
成績証明書 (学部及び大学院)	全員	出身大学(学部)長又は(研究科)長が作成し、厳封したもの。
修士学位論文要旨	全員	所定の用紙に、2,000字以内で記入してください。なお、関連した論文の別刷又は学術講演、特許等がある場合は、そのコピーを添付してください。
研究業績調書	修士論文に関連したものの他に研究業績を有する者	修士論文に関連したものの他に研究業績を有する者は、所定の用紙(本学生募集要項とじ込み)に、著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許及び実用新案等社会における研究活動状況を示すものを記入してください。なお、関連した論文の別刷等の資料を添付してください。
研究計画書	全員	研究を希望するテーマあるいは分野について、その目的及び構想を、研究指導を希望する教員と相談の上、所定の用紙に、1,000字以内で記入してください。
推薦書	勤務先で所属長の職にある者以外	所定の用紙に、勤務先の所属長又はこれに準ずる者が作成し、厳封したもの。
志望理由書	全員	所定の用紙に、本教育部に入学し、勉学、研究を行いたいと考えた動機及び目的を、所定の用紙に、1,000字以内で記入してください。
受験許可証	勤務先で所属長の職にある者以外	所定の用紙に勤務先の所属長(又はこれに準ずる者)の許可を得て提出してください。



## 8 個人情報の取扱い

- (1) 出願書類等に記載された氏名、生年月日、その他の個人情報については次の目的をもって、本学が管理します。
  - ① 入学者選抜、合格通知及び入学手続等の入試業務
  - ② 合格者の入学後の教務関係（学籍管理、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金援助、就職支援等）、授業料等に関する業務
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計、分析及び入学者選抜方法の調査、研究（入試の改善や志願動向の調査、分析等）のために利用します。

## 9 学修と研究及び教育方法の特例について

### 学修と研究について

入学後は学則に定められた教育課程に基づき、原則として教育部担当教員の指導の下で、学修と研究に専念するものとします。

なお、入学後の身分（現職、休職）は、当該官公庁・企業等の定めるところによることとし、専攻・コースによっては、勤務地等が通学可能距離にある場合、昼夜開講等弾力的に対処する場合があります（下記の特例による教育参照）。また、博士論文を作成する場合、指導教員の許可を受け、かつ、その指導の下で、勤務先での研究課題を取り上げ、その設備、機器等を使用して研究を行うことも場合により可能です。

### 大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例による教育について

通常、官公庁・企業等において勤務している社会人研究者・技術者が博士後期課程で学ぶ場合、3年間完全に勤務を離れ、学業に専念することになります。この修学条件を満たすことが難しい社会人学生に対しては、大学院設置基準第 14 条に「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」ことが規定されているため、この制度を利用して教育方法の特例を実施します。

### 長期履修学生制度について

学生が職業を有しているなどの事情により、通常の学生に比べて年間に修得できる単位数が限られるため、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する者に対して、申請に基づき、大学が審査し、その長期にわたる計画的な履修を認め、その在学期間中の授業料の負担を軽減することができる制度です。詳細は工学部学務係に照会してください。

社会の急速な高度情報化, 国際化などに対応した, 効率的な生産活動を可能にする国土を形成し, 安全で安心・快適な生活環境ならびに居住環境を創造するためには, 生産基盤, 生活基盤などの社会資本やその運用システムを自然環境と調和させながら機能的, 体系的に整備, 拡充していくことが必要です。このような観点から, 本コースでは, 社会的, 経済的, 工学的な広い視野にもとづく生活・生産基盤施設, 交通施設, 防災施設, 環境保全施設などの調査・計画, 解析, 設計・施工・運用システムおよび維持管理に関わる技術について研究・教育を行うことを目的としています。

本コースは, 上記の目的を達成するために, 担当教員が, 建設構造工学, 環境整備工学, 社会基盤工学, 社会システム工学の4講座に分かれて次のような研究課題に取り組んでいます。

講座名	概要	研究指導教員
建設構造工学 Structural Engineering	可視化手法によるコンクリート施工機械の高性能化 High performance of concrete machine with help of the visualization technique of fresh concrete 構造物の耐風設計・風災害・風環境に関する研究 Wind resistant design, Wind disaster, Wind environment 都市・地域の地震防災, 道路橋の耐震設計・長寿命化 earthquake disaster prevention of city and region, seismic design and life extension of road bridge 風の利用・風況推定・構造物の空力振動に関する研究 Wind disaster, Wind application, and Aerodynamic stability of Structures コンクリートの非破壊検査, 診断技術の開発 Non-destructive Testing of concrete	教授 橋本 親典 Prof. Chikanori Hashimoto 教授 長尾 文明 Prof. Fumiaki Nagao 教授 成行 義文 Prof. Yoshifumi Nariyuki 准教授 野田 稔 Assoc. Prof. Minoru Noda 准教授 渡邊 健 Assoc. Prof. Takehsi Watanabe
環境整備工学 Environmental Conservation Engineering	沿岸域生態系の環境影響評価と沿岸防災に関する研究 Environmental impact assessment and disaster management in coastal region 地域生態系の保全・修復に関する研究 Conseravation and restration of regional ecosystems 河道の地形形成プロセスと河川環境・防災に関する研究 Fluvial Process on Environment Restoration and Disaster Mitigation 環境と災害を一体とした自然との共生を目指した研究 Study on Coexistence of People and Nature ( Nature Conservation and Disaster Mitigation) 斜面災害の予知予測と対策技術に関する研究 Prediction and countermeasures of landslides and slope disasters. 河川生態系の保全・修復に関する研究 River ecology and restoration	教授 中野 晋 Prof. Sususmu Nakano 教授 鎌田 磨人 Prof. Mahito Kamada 教授 武藤 裕則 Prof. Yasunori Muto 教授 上月 康則 Prof. Yasunori Kozuki 准教授 蔣 景彩 Assoc. Prof. Jing-Cai Jiang 准教授 河口 洋一 Assoc. Prof. Yoichi Kawaguchi
社会基盤工学 Geotechnical and Geoenvironmental Engineering	地盤防災, 地盤と構造物の相互作用, 地盤の多相系解析 Geo-disaster mitigation, Soil-structure interaction, Multi-phase geomechanics 建物と地盤の動的相互作用, 入力地震動, 地盤震動 Dynamic Soil-Structure Interaction, Ground Motion Prediction	教授 渦岡 良介 Prof. Ryosuke Uzuoka 准教授 三神 厚 Assoc. Prof. Atsushi Mikami
社会システム工学 Planning and Design Systems Engineering for Infrastructures	安全, 高齢者, 身障者, 環境に配慮した道路・交通の研究 Transport planning and road design for safety, elderly, disabled, and environment 無限精度数値シミュレーション Infinite-Precision Numerical Simulation 高精度数値計算手法の研究 High Precision Numerical Computation コンクリート構造の耐久性向上・評価, 補修・補強技術 Durability evaluation and rehabilitation techniques of concrete structures 都市・交通政策の環境影響評価, 人口移動モデル Evaluation of Impact on the Environment by Regional Policies, Migration Model 非線形楕円型方程式の定性的研究 Nonlinear partial differential equations of elliptic type: Qualitative theory 公共調達システムの研究 Public Procurement System 都市環境形成のための交通現象解析と都市交通政策評価 Traffic analysis and evaluation of transport policy for ecological city	教授 山中 英生 Prof. Hideo Yamanaka 教授 今井 仁司 Prof. Hitoshi Imai 教授 竹内 敏己 Prof. Toshiki Takeuchi 教授 上田 隆雄 Prof. Takao Ueda 教授 近藤 光男 Prof. Akio Kondo 准教授 深貝 暢良 Assoc. Prof. Nobuyoshi Fukagai 准教授 滑川 達 Assoc. Prof. Susumu Namerikawa 准教授 奥嶋 政嗣 Assoc. Prof. Masashi Okushima

## 機械創造システム工学コース

Mechanical Engineering

今日、科学・技術の飛躍的発展とともに、機械は、情報・エレクトロニクスなどの高付加価値を組み入れることによりメカトロニクス化し、利用者・製造者にとってますます身近な工業製品となり、社会生活の基盤としての地位を増大させています。今後は、原子・分子の超微細なオーダーから巨大構造物や生産システム・生活空間まで、人間に優しい機械技術のより一層の進展が期待されています。加えて、環境保全性を重視した技術、知力を付与したインテリジェンシーの高い技術や生体に学んだ機械技術いわゆる機械のバイオ化の発展がこれからの課題となっています。このように、機械工学の分野では、より広い視野に立ち境界領域にも進出できる創造性豊かな人材が必要とされています。

本コースは、こうした観点から機械科学講座、機械システム講座、知能機械学講座および生産システム講座の4大講座で構成されており、下記の概要に示されているような研究と教育を行っています。

講座名	概要	研究指導教員
機械科学 Mechanical Science	環境に優しいエコマテリアルの開発 Development of environment-friendly ecomaterials 金属単結晶、双結晶を用いた結晶塑性と再結晶の研究 Plasticity and recrystallization of metal single- and bi-crystal 超音波による構造物の信頼性評価に関する研究 Ultrasonic material measurement and evaluation	教授 高木 均 Prof. Hitoshi Takagi 教授 岡田 達也 Prof. Tatsuya Okada 教授 西野秀郎 Prof. Hideo Nishino
機械システム Mechanical Systems	宇宙太陽光熱利用システムの地上要素研究 Fundamental research of Space Solar Power System (SSPS) レーザ計測技術を用いたエネルギー・環境機器の開発 Development of energy and environmental devices using laser diagnostics 燃焼改善技術と燃焼排気物質の低減に関する研究 Combustion Improvement and Reduction of Exhaust Emissions 気液・液々二相流や複雑流体の流れに関する研究 Gas-liquid/liquid-liquid two-phase flows and non-Newtonian fluid dynamics 流体流れの層流から乱流への遷移の研究 Laminar-turbulent transition in fluid flow 小型流体機械の性能特性と内部流れに関する研究 Research on performance characteristics and internal flow of small-sized fluid machinery	教授 長谷崎和洋 Prof. Kazuhiro Hasezaki 教授 出口 祥哲 Prof. Yoshihiro Deguchi 教授 木戸口善行 Prof. Yoshiyuki Kidoguchi 教授 太田 光浩 Prof. Mitsuhiro Ohta 准教授 一宮 昌司 Assoc. Prof. Masashi Ichimiya 准教授 重光 亨 Assoc. Prof. Toru Shigemitsu
知能機械学 Intelligent Machines	科学計測のためのインスルメンテーション Instrumentation for scientific measurements 機械の動的設計と振動制御 Dynamic design and vibration control of machinery 支援用具や福祉機器のインテリジェント化 Intelligent Technical Aids and Assistive Products	教授 岩田 哲郎 Prof. Tetsuo Iwata 教授 日野 順市 Prof. Junichi Hino 教授 藤澤正一郎 Prof. Shoichiro Fujisawa
生産システム Production Systems Engineering	知的テラヘルツ計測と生体光計測に関する研究 Intelligent terahertz and biomedical optics 複雑穴放電加工システムおよび超小型自律制御放電加工機の開発 Development of EDM system for fabricating complicatedly shaped holes NMR と超音波測定によるエネルギーデバイス材料の研究 NMR and ultrasonic studies on materials for energy devices 粉体加工・塑性加工を用いた材料創成と加工 Fabrication of advanced materials via powder and forming 協調的仮想空間指向ヒューマンインタフェースの研究 Human interface towards virtual collaboration 表面改質による機能性材料の開発 Surface engineering for functional materials	教授 安井 武史 Prof. Takeshi Yasui 教授 石田 徹 Prof. Tohru Ishida 教授 中村浩一 Prof. Koichi Nakamura 准教授 多田 吉宏 Assoc. Prof. Yoshihiro Tada 准教授 伊藤 照明 Assoc. Prof. Teruaki Ito 准教授 米倉 大介 Assoc. Prof. Daisuke Yonekura



化学機能創生コース  
Chemical Science and Technology

本化学機能創生コースは、近年のめざましい技術革新のうち、各種物質材料の高度機能設計と合成、その基本的性質の解明および化学工業における合理的生産工程、装置の設計理論と応用等を指向する化学技術分野の研究・教育をめざします。

学部教育に引続き、それらをさらに充実・発展させるべく、次の3大講座が設けられています。

- 1 物質合成化学
- 2 物質機能化学
- 3 化学プロセス工学

講座名	概要	研究指導教員
物質合成化学 Synthetic and Polymer Chemistry	<p>反応中間体及び新奇有機分子の構造と反応性 Organic photochemical reactions, electron-transfer reactions, and chemical modification of carbon allotropes such as fullerenes</p> <p>モデル的高分子の精密合成と特性解析に関する研究 Synthesis and characterization of polymers with controlled structure</p> <p>環境調和型有機合成手法の開発と応用 Development of environmentally friendly Synthetic method</p> <p>刺激応答材料などの機能性材料合成及び物性 Synthesis and property of stimuli-responsive and other functional materials</p> <p>重合反応の立体化学に関する研究 Study on stereospecificity in polymerization reaction</p>	<p>教授 河村 保彦 Prof. Yasuhiko Kawamura</p> <p>教授 右手 浩一 Prof. Kohichi Ute</p> <p>教授 今田 泰嗣 Prof. Yasushi Imada</p> <p>准教授 南川 慶二 Assoc. Prof. Keiji Minagawa</p> <p>准教授 平野 朋広 Assoc. Prof. Tomohiro Hirano</p>
物質機能化学 Physicochemistry and Material Science	<p>ソフトプロセスによるヘテロ構造体の物性 Hetero-structured materials with soft synthetic processes</p> <p>流体および超臨界流体に関する研究 Research on fluids and supercritical fluids</p> <p>化学的親和性を活用する分離分析法の開発 Development of analytical and separation methods on the basis of chemical affinity</p> <p>放射性同位元素を用いたナノ粒子の機能化 Functionalization of nanoparticles by radioisotopes</p> <p>バイオセンサおよびバイオマテリアルに関する研究 Research and development of biosensors and biomaterials</p> <p>タンパク質結晶およびコロイド結晶の研究 Fundamental studies on protein crystals and colloidal crystals</p> <p>新規な高感度分析法の開発とその環境化学的応用 Development of analytical systems for environmental and biological species</p>	<p>教授 金崎 英二 Prof. Eiji Kanazaki</p> <p>教授 魚崎 泰弘 Prof. Yasuhiro Uosaki</p> <p>教授 高柳 俊夫 Prof. Toshio Takayanagi</p> <p>教授 三好 弘一 Prof. Hirokazu Miyoshi</p> <p>准教授 安澤 幹人 Assoc. Prof. Mikito Yasuzawa</p> <p>准教授 鈴木 良尚 Assoc. Prof. Yoshihisa Suzuki</p> <p>准教授 藪谷 智規 Assoc. Prof. Tomoki Yabutani</p>
化学プロセス工学 Chemical Process Engineering	<p>高機能性触媒および環境浄化材料の開発研究 Development of advanced materials for catalysts and environmental cleanup</p> <p>酸（窒）化物半導体・蛍光体の合成と材料化学 Materials chemistry on oxynitride/oxide semiconductors and phosphors</p> <p>マイクロ反応装置を利用した新規化学プロセスの開発 Application of microreactor technology</p> <p>無機多孔性材料を用いた分離プロセスの開発 Development of new separation processes using porous inorganic materials</p> <p>機能性多孔質材料の開発とその応用に関する研究 Study on development of functional porous materials and its applications</p>	<p>教授 杉山 茂 Prof. Shigeru Sugiyama</p> <p>教授 森賀 俊広 Prof. Toshihiro Moriga</p> <p>教授 外輪健一郎 Prof. Ken-Ichiro Sotowa</p> <p>准教授 加藤 雅裕 Assoc. Prof. Masahiro Katoh</p> <p>講師 堀河 俊英 Assoc. Prof. Toshihide Horikawa</p>



## 生命テクノサイエンスコース

Biological Science and Technology

21世紀の人類が抱えるエネルギー、環境、医療、食糧などの諸問題の解決には、生物や生体分子が持つ優れた機能を応用するバイオテクノロジーが不可欠であり、高度な専門知識と技術を有する生物学技術者が必要とされています。生物学は、取扱う生物、生体分子が多様であるため、その分野も非常に広がっています。そのため本コースでは、生物反応工学と生物機能工学の2講座で編成し、微生物から哺乳類まで、また蛋白質、糖質、脂質、遺伝子などの生体分子および生体分子と作用する薬剤分子等に関する研究を行っています。生物学の新技术創成には、新しい生体分子の発見、構造・機能の解析などの基礎研究の成果が必須であるため、基礎研究が重要視されているのが本コースの特徴です。講義は、生体分子機能設計、微生物分子論、遺伝情報工学、細胞情報工学、酵素機能工学、生体機構工学、分子病原微生物論、資源エネルギー変換特論等が開講されています。

講座名	概要	研究指導教員
生物機能工学  Engineering in Biological Functions	両親媒性分子集合系の生物物理化学的研究 Biophysicochemical study on aggregate systems of amphiphilic molecules セル&ティッシュエンジニアリングに関する研究 Study on cell/tissue engineering and biochemical engineering 微生物毒素の機能研究とその医学・細胞工学的応用 Study on function of microbial toxins and their application in medicine and cell technology 発育鶏卵を利用した制癌剤の創薬研究 Study on medicinal chemistry of anticancer drugs based on developing egg 微生物の異物排出ポンプと多剤耐性化機構に関する研究 Study on bacterial xenobiotic efflux pumps and their role in antibiotic and antiseptic resistance 脂質膜の構造特性に関する物理化学的研究 Physicochemical study on structure and properties of lipid membranes	教授 松木 均 Prof. Hitoshi Matsuki 教授 大政 健史 Prof. Takeshi Omasa 教授 長宗 秀明 Prof. Hideaki Nagamune 准教授 宇都 義浩 Assoc. Prof. Yoshihiro Uto 准教授 間世田英明 Assoc. Prof. Hideaki Maseda 准教授 玉井 伸岳 Assoc. Prof. Nobutake Tamai
生物反応工学  Engineering in Biological Reactions	蛋白質の翻訳後修飾、活性制御に関する研究 Study on post-translational regulation of enzyme activity 生物資源の有効利用と生物的環境修復技術に関する研究 Study on effective utilization of biomass and environmental bioremediation technology	教授 辻 明彦 Prof. Akihiko Tsuji 教授 中村 嘉利 Prof. Yoshitoshi Nakamura

## 電気電子創生工学コース

Electrical and Electronic Engineering

電気電子工学は、20世紀後半にみられるかつてない科学技術の進歩の中でその中心的役割を果たし、現在もなお急速に発展しつつある学問分野です。本コースは、電気電子工学を物性デバイス、電気エネルギー、電気電子システム、知能電子回路の4分野からなるものとみなし、それぞれに対応する4講座から構成されています。

「物性デバイス」講座は、電気・電子材料や半導体を中心とする電子デバイスの開発、「電気エネルギー」講座は、電気エネルギーの発生・変換・制御・輸送・利用方法、「電気電子システム」講座は、システムの制御・設計や各種情報の処理・通信方式、「知能電子回路」講座は、電子回路の設計・解析や計算機の知的ハードウェア・ソフトウェアの教育と研究を行います。

各講座の具体的研究テーマの概要は下表のとおりです。

講座名	概要	研究指導教員
物性デバイス Material and Device Science	核融合装置におけるプラズマ・壁相互作用の研究 Plasma wall interactions in fusion devices III-V族光半導体デバイスの研究 The research on III-V photonic devices グラフェンの研究 Study on graphene III族窒化物・IV-V族半導体デバイスの研究 Development of new semiconductor material, and nitride-based photonic device 窒化物半導体結晶成長の研究 Crystal growth of nitride semiconductors ワイドバンドギャップ半導体電子デバイスに関する研究 Wide bandgap semiconductor electron devices 遷移金属酸化物の磁性の研究 NMR study of magnetism in transition metal oxides	教授 大宅 薫 Prof. Kaoru Ohya 教授 酒井 士郎 Prof. Shiro Sakai 教授 永瀬 雅夫 Prof. Masao Nagase 教授 直井 美貴 Prof. Yoshiki Naoi 准教授 西野 克志 Assoc. Prof. Katsushi Nishino 准教授 敖 金平 Assoc. Prof. Jin-ping Ao 講師 川崎 祐 Assoc. Prof. Yu Kawasaki
電気エネルギー Electric Energy Engineering	パルスパワー応用と放電プラズマ応用、視環境設計 Applications of pulsed power and discharge plasma, visible environment design 知的システム（ロボット、福祉機器、再生可能エネルギー） Intelligent systems (robotic systems, human friendly motion control systems, renewable energy systems) 電力機器診断技術、電磁波計測、計算電磁気、信号処理 Diagnostic techniques for power equipment, measurement of electromagnetic waves, computational electromagnetics, signal processing 放電プラズマの生成と応用ならびに環境改善技術への適用 Generation of discharge plasmas and their application to environmental improvement	教授 下村 直行 Prof. Naoyuki Shimomura 教授 安野 卓 Prof. Takashi Yasuno 准教授 川田 昌武 Assoc. Prof. Masatake Kawada 准教授 寺西 研二 Assoc. Prof. Kenji Teranishi
電気電子システム Electrical and Electronic Systems	高周波集積回路の研究 High frequency analog integrated circuit design 光信号処理、光伝送及び光通信ネットワーク Optical fiber transmission, optical signal processing むだ時間を含む系、分布定数系の制御 Control of time-delay and distributed-parameter systems 整数論および代数系の応用 Number theory and applications of algebraic systems システム工学、制御工学とその応用 Systems engineering and control engineering	教授 小中 信典 Prof. Shinsuke Konaka 教授 高田 篤 Prof. Atsushi Takada 教授 久保 智裕 Prof. Tomohiro Kubo 教授 高橋 浩樹 Prof. Hiroki Takahashi 准教授 大屋 英稔 Assoc. Prof. Hidetoshi Oya
知能電子回路 Intelligent Networks and Computer Science	電子回路の設計とテスト Design and test of electronic circuits LSI レイアウト設計のCAD 技術に関する研究 Research on CAD algorithms for VLSI layout design 非線形回路工学、カオス工学、認知工学 Nonlinear circuit technology, chaos engineering, cognitive engineering VLSI の検査容易化設計に関する研究 VLSI testing and design for testability 動画像符号化アルゴリズム及びそのVLSI 設計 Video coding algorithms and its VLSI design 複雑系ネットワーク、脳情報工学 Complex networks, brain-inspired information technology	教授 橋爪 正樹 Prof. Masaki Hashizume 教授 島本 隆 Prof. Takashi Shimamoto 教授 西尾 芳文 Prof. Yoshifumi Nishio 准教授 四柳 浩之 Assoc. Prof. Hiroyuki Yotsuyanagi 准教授 宋 天 Assoc. Prof. Tian Song 講師 上手 洋子 Assoc. Prof. Yoko Uwate

## 知能情報システム工学コース

Information Science and Intelligent Systems

現代社会は、工業化社会から高度情報化社会へ変貌しつつあります。この変革をもたらしたのは、半導体を中心とするエレクトロニクス技術とコンピュータハードウェア技術の急速な進歩です。

ところが、先端技術の急速な発展に対応してコンピュータの普及は著しいですが、集積回路などのハードウェア技術に比較してソフトウェア技術の進歩が日本において特に遅れているのが現状です。しかし、高度情報化社会を形成するための高い知識を持つコンピュータ技術者は大幅に不足しており、人材養成が強く求められています。本コースはこれらの社会的要請に対応し、情報科学および情報産業に十分適応し、工業化社会とタイプを異にするソフトウェア技術、とりわけ知的情報処理技術に重点の置かれた情報科学の教育・研究を行なっています。

本コースは基礎情報工学講座および知能工学講座の2大講座で編成されており、言語理解と知識・知能工学、マルチメディア情報検索、知的情報処理、知能システムの創発的設計、大域情報通信網の効率と信頼性の解明、コンピュータビジョン及びパターン認識、Web プログラム開発技術、自然言語理解と感性情報処理、学習・教育システム、ソフトコンピューティングと信号処理などの研究教育を行なっています。

知能情報システム工学コースにおける2大講座の概要は以下のとおりです。

講座名	概要	研究指導教員
基礎情報工学 Information Science	言語理解と知識・知能工学に関する研究 Research on language understanding and knowledge-intelligence engineering マルチメディア情報検索に関する研究 Research on multimedia information retrieval マルチメディア情報検索技術に関する研究 Research on multimedia information retrieval techniques パターン認識及びソフトコンピューティングに関する研究 Object recognition using pattern recognition and soft computing algorithms.	教授 任 福継 Prof. Fuji Ren 教授 北 研二 Prof. Kenji Kita 教授 獅々堀正幹 Prof. Masami Shishibori 講師 Stephen Karungaru Assoc. Prof. Stephen Karungaru
知能工学 Intelligent Systems	Web プログラム開発技術に関する研究 Research on Web program development techniques 自然言語理解と感性情報処理に関する研究 Natural language understanding and affective computing ソフトコンピューティングと信号処理に関する研究 Softcomputing and Signal Processing 画像処理, コンピュータビジョンに関する研究 Research on image processing and computer vision 非線形力学系の分岐問題と視覚化に関する研究 Bifurcation problems and visualization of nonlinear dynamical systems 自然言語処理と情報検索に関する研究 Natural language processing and information retrieval マルチメディア応用と情報基盤システム研究 Research on Multimedia Applications and ICT Infrastructure 自然言語・知識処理に関する研究 Natural language and knowledge processing	教授 下村 隆夫 Prof. Takao Shimomura 教授 青江 順一 Prof. Jun-ichi Aoe 教授 福見 稔 Prof. Minoru Fukumi 教授 寺田 賢治 Prof. Kenji Terada 教授 上田 哲史 Prof. Tetsushi Ueta 准教授 泓田 正雄 Assoc. Prof. Masao Fuketa 准教授 松浦 健二 Assoc. Prof. Kenji Matsuura 講師 森田 和宏 Assoc. Prof. Kazuhiro Morita

## 光システム工学コース

### Optical Systems Engineering

近年、光子を用いて情報の入力、処理、伝送及び出力（表示）を行うフォトニクスの進歩はめざましく、20世紀の技術的発展の原動力になったエレクトロニクスの限界を、電子よりも高速で、電磁干渉が少ない光子を用いることによって着実に打破しています。

それゆえに、フォトニクスは21世紀を支える基盤技術の一つとみなされています。このことは、半導体レーザーと光ファイバーを基本的構成要素とする光ファイバー通信が、その通信容量において、マイクロ波通信や同軸ケーブルを用いる通信を圧倒的に凌駕していることから明らかです。

このようにフォトニクスはその将来に無限の可能性を秘めているが、それだけにその包含する技術内容は、極めて多岐にわたっています。様々な技術内容で21世紀を支える技術という観点から見ると、解決されるべき、あるいは実現が期待されている技術課題も非常に多いことが分かります。しかも、フォトニクスでは、個々の技術が複雑に絡み合った上に従来技術では得られなかった能力が発揮されています。

したがって、フォトニクスの各要素技術を別個に他と関係なく研究することは、非常に効率が悪く、材料、デバイスから装置、システムまで一貫した体系のもとに研究・教育を行って初めてフォトニクス技術全体を効率的に発展させることができます。

このような状況を考慮し、フォトニクスを真に21世紀を支える基盤技術として育成するために、フォトニクスを材料、デバイスから装置、システムまで一貫して研究することによりフォトニクスの工学的体系を確立し、教育するのが本教育部の光システム工学コースです。

光システム工学コースにおける2大講座の具体的研究テーマの概要は下表のとおりです。

講座名	概要	研究指導教員
光機能材料 Optical Materials and Devices	ナノサイズ領域への光閉じ込めと応用に関する研究 Photon localization in nano-scale plasmonic structure and its application 強結合超伝導体の電子状態の研究 Research on the electronic states of strong coupling superconductors マイクロ・ナノ光化学およびレーザー物質制御 Photochemistry in micro-nanosystems and laser nanofabrication 超短パルスレーザーを用いた微細加工技術の開発 Micro/Nano materials processing using ultrashort pulse lasers	教授 原口 雅宣 Prof. Masanobu Haraguchi 教授 岸本 豊 Prof. Yutaka Kishimoto 教授 橋本 修一 Prof. Shuichi Hashimoto 准教授 松尾 繁樹 Assoc. Prof. Shigeki Matsuo
光情報システム Optical Information Systems	立体ディスプレイや映像情報システムの研究 Information display system & 3D display system 医用イメージング、医用情報システムの研究 Medical images, Medical information system 光通信や光情報ネットワークの研究 Study on optical communications and optical information networks	教授 陶山 史朗 Prof. Shiro Suyama 教授 仁木 登 Prof. Noboru Niki 教授 後藤 信夫 Prof. Nobuo Goto

## フロンティア研究センター寄附講座

Center for Frontier Research of Engineering

フロンティア研究センターは研究の世界的研究拠点となることを目指す組織として、ソシオテクノサイエンス研究部に付置され、「光ナノテクノロジー」、「医工連携人間情報工学」、「資源循環地圏環境エネルギー」の3研究部門78分野から構成されています。このうち、67分野は各コースの講座の研究指導教員が併任しているが、ナノマテリアルテクノロジー分野は、日亜化学工業の寄附講座で、センター専任教員によって担当されています。

この講座では、高度情報化社会を支える基盤技術としての先端的な「もの作り」技術の開発を基本理念にして、半導体ナノ構造の作製・その物性の計測評価・デバイス応用に関して一貫した研究を行っています。特に量子効果を使った高機能な高速光・電子デバイスを目指して、化合物半導体ナノ構造の結晶成長や、超短パルスレーザーによる超高速光学応答評価などに重点をおいて研究を進めています。本講座は先端技術科学教育部の各専攻・コースには属していませんが、ここで研究指導を受けることができます。（知能情報システム工学コース、建設創造システム工学コースを除きます）

講座名	概要	研究指導教員
ナノマテリアルテクノロジー 日亜寄附講座  Branch of Nano-Materials Technology Nichia Contribution Laboraory	ナノ半導体の光物性と光・電子デバイス  Optical physics of semiconductor quantum nanostructures and optoelectronic devices  ナノ半導体結晶成長とそのデバイス応用  Fabrication of semiconductor quantum nanostructures and its device application	教授 井須 俊郎  Prof. Toshiro Isu  准教授 北田 貴弘  Assoc. Prof. Takahiro Kitada

なお、希望学生は学務係に申し出ること。